

平成 27 年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	加納児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市加納高柳町1丁目1番地 岐阜市立加納西小学校 敷地内		
指定管理者名	社会福祉法人 和光会		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募	<input type="checkbox"/> 非公募	
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料	<input type="checkbox"/> 利用料金	<input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし
指定管理委託料(年額)	14,632,457円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造平屋建 ◇敷地面積:1,008.00㎡ ◇延床面積:348.27㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、図書学習室、静養室、会議室、事務室		

●利用状況

		H27 下半期	H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,693	18,565	16,967	18,842	15,910
	移動児童館利用者数	794	1,390	1,362	1,728	1,752
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	21	26	30	29	34
	開館日数(単位:日)	151	156	151	156	151

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおりに実施。 ②所長(正規職員・児童厚生員・保育士)、正規職員1名(保育士)、非常勤職員3人(児童厚生員1人、保育士2人)、アルバイト1人 ③児童館のおしらせ「はみんぐ」を毎月発行・配布、児童館及び法人のホームページに掲載、指定管理者の広報誌「ファミリー」に児童館の活動を掲載。 ④常時ご意見箱を設置するとともに、利用者アンケートを実施し、問題の解決に努めている他、来館・退館時に声を掛け、話しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①適切に実施。 ②毎日館内外の清掃を行うほか、玩具、扉、窓については、定期的な消毒を実施。 ③ぎふ省エネチャレンジ事業者コンテストに参加。廃材を利用したおもちゃづくりを実施。光熱費のチェック表を作成し、毎月確認を行っている。 ④朝夕の施設外周の見回り点検を実施。玩具については、片付け時に職員が確認し、破損が発見された場合は、おもちゃ病院に修理を依頼した。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①点検業務により発見した箇所については、速やかに職員が業者に修繕を依頼。 ②簡易な修繕については、指定管理者(本部)に修繕を依頼し、経費の削減に努めた。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①～③のすべてにおいて、岐阜市と法人本部が作成したマニュアル等に沿って実施。ヒヤリハット記入を強化し、周知することで事前の事故・苦情等の防止に努めている。法人内においても監査指導を受けている。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成28年2月に乳幼児クラブの保護者にアンケート(無記名)を実施。 回答者数 101人 回答者の年代 10代0%、20代10%、30代77%、40代13%(全て女性)
利用者アンケートの実施結果	<p>○職員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 満足89%、ほぼ満足8%、普通3%、やや不満0%、不満0% ・言葉遣い 満足89%、ほぼ満足9%、普通2%、やや不満0%、不満0% ・対応 満足88%、ほぼ満足9%、普通3%、やや不満0%、不満0% <p>○施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使いやすさ 満足46%、ほぼ満足35%、普通16%、やや不満3%、不満0% ・整理整頓 満足56%、ほぼ満足31%、普通13%、やや不満0%、不満0% ・室内の清掃 満足58%、ほぼ満足24%、普通16%、やや不満2%、不満0% ・換気 満足54%、ほぼ満足27%、普通19%、やや不満0%、不満0% <p>○幼児クラブに参加して 満足71%、ほぼ満足27%、普通2%、やや不満0%、不満0%</p> <p>○幼児クラブの活動時間について 適当97%、長すぎる0%、短い3%</p> <p><児童センターを利用してよかったこと> 乳幼児クラブでの体を動かす遊び、特に運動会は親子で楽しめた。 クリスマス会が毎年楽しみで参加している。 季節感を味わえる工作や歌あそびがよかった。 あそび活動の中で身長・体重を測ってもらい、子どもの体の成長も知ることができた。 職員が子どもへの対応が明るく優しい。 育児相談も支えになっている。 トイレが工事されて使いやすくなった。</p>
利用者からの要望・苦情と対処・改善	<p><要望⇒対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ○英語クラブを作って欲しい⇒27年度後期より、ボランティアによる英語教室を始めました。児童には月1回の時間を設け、また乳幼児クラブの活動にも取り入れています。 ○乳幼児クラブの参加人数が多い。⇒たくさんの親子に参加頂いていますが落ち着いた活動ができるように検討し、登録数の調整を28年度より行います。 ○親子のクッキング教室を取り入れて欲しい。⇒乳幼児教室の中では三歳児の親子が年1回親子クッキングを行っています。児童の方では児童の参加を募集して行っていますが親子での参加も歓迎しています。安全や衛生面を考えながら、今後も検討していきます。 ○乳幼児クラブの活動日数を増やしてほしい。⇒地域の子育て支援のひとつとして、年齢に合わせた遊びを提供しています。たくさんの親子に参加して楽しんで頂けるように今後も取り組んでいきます。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	A	A
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	A	A	A
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	S	A	S
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	A	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	S	S	S
区分評価			A			

効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費削減の具体的方策	・管理経費削減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	S	S	S
区分評価						S
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	S	S
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	S	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
		区分評価				
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託等)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	S	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
		区分評価				

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・今期の取組で加納児童センターは、ぎふ省エネチャレンジ事業所コンテスト2015(岐阜市地球温暖化対策推進委員会)において1位を頂きました。職員が協力し合い取り組んだ結果だと思えました。CO2排出量合計削減率15.7%(昨年比)でした。牛乳パックで椅子や、ボールプールの枠を作ったり、また、ペットボトルでおもちゃを作ったり、お茶を沸かすのを止めて、各自が水筒を持って来るようにしたりと、今期は、今まで以上にいろいろな工夫を行いました。今後も、電気も使わない時はコンセントを抜くなど省エネに心がけようと職員で話しました。 ・東海学院短期大学の2人と前期の聖徳学園大学短期大学の2人の合わせて年間4人の実習生を受け入れました。職員も指導することでとても勉強になりました。人を育てることは自分を見つめ直す良い時間でもあったように思いました。今後も積極的に受け入れたいと思えました。 ・毎年、岐阜消防署の普通救命講習をお願いしていますが、今回は、2回実施し、乳幼児連れの保護者の誤飲防止の講習会と職員研修会としてAED講習を受講しました。今後予想される東海大地震など、いつ震災が起きかわからない、この時だからこそ取り組む必要があると思えました。また、防災グッズとして日本赤十字の方に新聞紙のスリッパ作りを小学生が教わりました。テレビでもガラスが割れて足を怪我しない方法として新聞紙スリッパが良いと言っていましたように自分の命は自分で守る事の大切さを実感しました。総合的に利用者の立場に立って行事を取り入れた下半期でした。
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の施設長会議の中で、ドリームシアター岐阜より、はみんぐ(児童センター便り)を送って下さいとの依頼を受けましたので10部づつ送りましたら、今年に入って、ドリームシアター岐阜で、加納児童センターのはみんぐ(児童センター便り)を見たので遊びに来ましたと親子連れが来館しました。とてもうれしかったです。これからも、児童センターで更に楽しく遊べるように取り組んでいきます。 ・ベビーキープ付きで明るくて使いやすいトイレが3月に完成しました。3月のはみんぐ(児童センター便り)にトイレが素敵になったこと、卓球台が軽くて新しくなったことを掲載しました。新1年生達が沢山遊びに来るようなPRに繋がったように思いました。
今後の取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は、職員会議の中で、「乳幼児の成長」や、「あせもなどの病気」、「離乳食」などをテーマにして学習会をして職員のスキルアップに取り組んでいきます。 ・乳幼児の音楽クラブは人数を増やしてほしいとの意見があったので、平成28年度より20名から25名に増やして充実した乳幼児クラブに努めていきたいと思いました。 ・地域のボランティアを今後も継続して頂けるように、いろいろな多世代の交流企画を行っていきます。 ・5月に岐阜市(岐阜市地球温暖化対策推進委員会)からパッションフルーツの苗を頂き、緑のカーテンプロジェクトを始めます。目的としては、熱環境の改善により、空調等にかかるエネルギー使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減を目指します。今回の取組を通して子ども達あるいは、地域の方々と水やりや観察をして自然物の素晴らしさや、パッションフルーツが実った時の達成感を味わうため、みんなで協力して成し遂げたいと職員は今から計画しています。

●所管課の意見

毎月のおたよりを乳幼児用と児童用に2種類作成し、児童用については担当校区の全児童に配布しているほか、ホームページにも掲載して活動内容を紹介するなどの広報活動を行っている。

牛乳パックを再利用し、「ボールプールの枠」、「ゲーム的」や「実際に座れる椅子」、ペットボトルの空き容器を利用した幼児用のおもちゃを作成するなど、廃材を利用し遊びながらリサイクルを教える活動や、節電などの省エネの取り組みについて、岐阜市地球温暖化対策推進委員会の「ぎふ省エネチャレンジ事業所コンテスト2015」で総合1位となったことなど、児童センターのエコ活動の取組について評価したい。

また、地域のボランティアを活用し、「囲碁・将棋」、「卓球」、「折り紙」、「英語」、「野菜作り」、「音楽ひろば」、「子育て講座」、「裁縫」、「お抹茶」など多くの事業を開催し、地元との連携・交流を積極的に行っている。

保育士の資格を持つ職員が非常勤職員を含め4名配置されており、子どもを見守るスタッフの充実について評価できる。経営状況についても、問題なく運営が行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

省エネエコチャレンジ事業所コンテストで1位となるなど、環境配慮の活動を積極的に行っていることについて評価したい。

また、利用者の意見・要望に対する回答について、利用者にとって非常にわかりやすい対応を行っていることを評価したい。児童センターを利用する母親に対し定期的に利用者アンケートを行っているが、今後は児童にもアンケート等により意見を聞くなど要望を分析し、満足度向上、利用促進に努めていただきたい。

多くの地域ボランティアが児童センターで様々な活動を行って子ども達と交流しており、今後も地域に根ざした児童センターを目指してほしい。

適正に管理運営が行われており、良好と認められる。